

事業番号	276
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	土地区画整理事業関連整備事業						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	区画整理課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	庶務係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		22 市街地整備		2 土地区画整理事業を推進する				
		副目的	22-3		22-4						
	予算区分	款	8	項	4	目	6	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	土地区画整理法、尾張都市計画事業(小牧小松寺・小牧天津・小牧岩崎山前・小牧南)土地区画整理事業計画									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	各地区の土地区画整理事業に関連する工事等を行い、事業を円滑に推進し、事業効果を高める。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容 各地区の土地区画整理事業の進捗に合わせて、必要な関連整備事業を行う。 平成24年度の土地区画整理事業関連整備事業は、下記のとおりである。</p> <p>・小牧南地区の区画道6-104号関連工事に係る監理監督業務及び2件の建物移転に伴う補償交渉。 (平成25年度の8号調整池築造に向けての建物移転補償及び道水路工事を関連整備事業として整備。)</p> <p>◆平成24年度直接経費の内訳 工事請負費(10,845千円) 物件移転補償費(54,109千円) 委託料等(2,016千円)</p> <p>◆平成25年度直接経費の内訳 工事請負費(140,000千円) 物件移転補償費(49,000千円) 委託料等(8,447千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額	
コスト	費用	直接経費	千円	44,274	52,870	66,970	197,447
	正職員	従事者数	人	0.40	0.50	0.50	0.50
		人件費	千円	2,132	2,665	2,665	2,665
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	46,406	55,535	69,635	200,112
対前年比		%		119.6	125.3	287.3	
財源	一般財源	千円	23,206	45,935	69,635	146,712	
	国・県支出金	千円	0	4,200	0	28,200	
	その他財源	千円	23,200	5,400	0	25,200	

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	区画道6-104号関連 道水路工事	m	目標	—	—	160
実績				—	—	0	
区画道6-104号関連 物件移転補償		件	目標	—	—	2	—
			実績	—	—	2	
成果指標名	単位			H22	H23	H24	H25
		区画道6-104号関連 道水路工事	m	目標	—	—	160
			実績	—	—	0	
	区画道6-104号関連 物件移転補償	件	目標	—	—	2	—
			実績	—	—	2	

事業の自己評価	平成24年度の 実施結果	事業の 達成状況	平成24年度の小牧南地区の区画道6-104号関連工事及び物件移転補償については、移転補償交渉の難航により工事が平成25年度に繰越となった。				
		事業実施における課題	駅周辺の住環境に優れた市街地でありながら、緊急車両が進入できないような狭隘道路の問題や生活道路が未整備ということで、地元住民に不利益を与える可能性がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	道路、公園等の公共施設と宅地整備を総合的に行う区画整理事業が事業途中で廃止・休止となった場合、これまでに土地利用を制限してきたことや、その他不利益を地区内権利者に与えることになるため損害賠償が想定される。また、都市計画法、土地区画整理法に基づいて決定された、都市計画決定、仮換地指定、事業計画等の取消は、現実的に困難である。よって、事業の早期完了を目指し、安全安心なまちづくりのため土地区画整理事業を継続的に進めていく必要がある。				
	平成25年度の 改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	今年度については、物件移転補償契約を早期に締結し、工事に早期に着手し、年度内完了を目指す。				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	毎年の目標を達成できるよう積極的な補償交渉を推進し、道路や排水路等の公共施設整備を進めていく必要がある。					
	26年度以降の改善案	今後も各地区の土地区画整理事業の進捗状況に合わせて、事業効果を高めるため地区内外に接続する道路や排水路等の関連工事を実施していく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。